

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和6年 3月31日

事業所名 児童発達支援センター 向島あづみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	・定員に対しては基準を満たしている。空いている指導室を有効利用している。	・収納スペースの確保と狭さが課題である。 ・整理を行い不要なものは廃棄する。
	②	職員の配置数は適切である	87%	13%	・事業所においては法的基準を満たしている。活動や職員の出欠状況で、朝礼時に職員の配置数を確認している。	・園児の状態や職員の出欠によっては、不足の日もあるので、増員をお願いしたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	53%	47%	・段差がある個所においては、出入り口にスロープを設置している。 ・構造化は不十分であり、わかりやすい環境になっていないので、まずは刺激をシャットアウトするようにパーテンション等を用いている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	87%	13%	・緑化を行い、自然を感じながら過ごせように環境を整えている。 ・清掃を行い、清潔感が保たれるようにしているが、ゴミが落ちているときがある。	・園全体に目を向け、気づいたときに行動できるように意識を高めていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	93%	7%	・中堅職員を中止にお行っている。	・今後も継続実施していく。職員間で共有を行う
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・評価を実施し、結果を職員で共有し、改善点を図っている。	・今後も継続実施していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページにて公開している。	・今後も継続実施していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	・実施していない。	・外部評価の実施を検討するべき。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・外部講師・フォーラムなどで資質の向上に努めている。	・今後も継続実施する。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・アセスメントの結果を踏まえて支援計画を作成している。	・今後も継続実施する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・発達検査・知能検査等を活用している。	・今後も継続実施する。

提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・子どもの支援に必要な項目を選択し具体的な支援内容に設定している。	・現在は法人独自の書式になっているが、今後はガイド来に基づき、明確化して予定。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援会議を行い、支援の共有を図っている。また、半年に1回にモニタリングを行い、見直しをしている。	・支援計画をいつでも見えるところに掲示したり、ノートに挟んで確認しながら支援をしていく事を継続する。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	73%	27%	・主としてクラスリーダーが行っている。	・クラス担任で計画していけるように、取り組んでいく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・様々な遊びと活動を取り入れている。	・継続して実施していく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	87%	13%	・個別は専門職の視点で・集団は保育士が中心となり多職種で作成を行っている。	・継続して実施していく
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	67%	33%	・出来るだけ、事前の打ち合わせをするようにしているが、業務上難しい日もある。	・先に留意して実施していく
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%	・クラスごとで、毎日ではないが、気づいたことに関しては振り返りを行い、共有している。	・必要に応じては、職員全体で共有できる場を作る様にしていく
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	93%	7%	・記録をとっている。	・月に1回の実態把握会議にて検証改善を行っている。継続して取り組んでいく。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・実施している	・継続する。
関係機関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達管理責任者が参画している	・継続する。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・必要に応じて、連携を図っている	・継続する。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

保護者との連携	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・カンファレンス等で情報共有や相互理解を張っている。	・継続する。
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・管理者・担当職員による情報共有を行っている。また、小児科医を含んでカンファレンスも実施している。	・継続する。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	・連携は十分ではないが、専門機関から講師を招いて助言・研修を受けている	・継続する。
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	53%	47%	・併行利用児は交流を行っているが、毎日利用児は難しい。	・受け入れ側の検討
	㉔	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80%	20%	・担当者が参加し、必要に応じて情報共有をしている。	・継続する。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・日々の連絡帳を活用して取り組んでいる。また、月1回の親子活動・個別指導時に行っている。	・継続する。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・ペアトレの講座を受講した職員によって開催している。	・継続する。
保護者への説明責任	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	93%	7%	・契約時に説明をしている。	・継続する。
	㉘	児童発達支援がイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・支援計画は法人独自の書式になっているが、計画の支援内容においては保護者に説明をし、同意を得ている。	・今後はガイドラインに紐付けされた書式に変更していく予定
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・保護者から悩み相談があったときは対応できるように配慮している。	・継続する。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%	・保護者会は設立していないが、保護者同士が話しやすい場は提供している。	親子活動を活用し、保護者間でのつながりが持てるよう取り組んでいく
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・相談には迅速に対応できるように心得ているが、業務上、難しいときはある。	・継続する。

等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1回、クラス便り・園だよりを発行している。コドモンを活用し連絡体制を整えている。	・継続する。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・個人情報の持ち出しの禁止・廃棄にはシュレッターの活用。個人が特定するものは提示しないようにしている。	・継続する。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・視覚支援等を活用しわかりやすい方法で伝達するように努めている。	・継続する。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	53%	47%	・作品展を開催したが、地域の方への招待は幅広く行っていない。	・継続する。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・訓練を実施し、マニュアルを定めている。	・継続する。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・月に1回、定期的に訓練を行っている。	・継続する。
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・入園時に子どもの健康状態を把握している。	・継続する。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・指示書を基づいて対応している。	・継続する。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・作成し、朝礼等で職員の共有を行っている。	・継続する。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・法人全体で研修を受講している。また、月1回の職員会議で事例検討に取り組んでいる。	・継続する。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	93%	7%	・身体拘束に関しては組織的に決定しておらず、支援計画には対応策が記載されている。	・継続する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表

令和6年3月31日

事業所名 児童発達支援センター向島あづみ

保護者等数(児童数)64世帯(園児69名)

割合 84%回収

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	87%	9%	0%	4%	・教室・園庭等、十分な広さはあると思います。 ・活動しやすそうだと思います。 ・子どもたちにとって狭そうと感じたことはないが、保護者が訪れることが多く、そうすれば少し狭いように思う。	・今後の検討課題として取り組んでいく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	85%	2%	0%	13%	・職員の配置数・専門性は十分だと思います。 ・小人数にクラスに先生がしっかりと入ってくれていて安心です。 ・とても丁寧に見てくださっていると思います。	・今後も継続していく
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	83%	9%	0%	7%	・絵カードの使用等、わかりやすく構造化された環境だと思う。 ・刺激の少ない部屋があったり、構造化された環境になっていると思います。 ・気になるものがなく集中しやすい環境だと思います。 ・体幹が弱いので、机の椅子に変えてくださりありがたく思っています。 ・とても工夫されており、場所・名前を提示され、移動できている。	・情報等は今後も継続して取り組んでいく。 ・施設の設備は今後検討をしていく
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	91%	9%	0%	0%	・子どもの人数に対してプレイルームが少し狭く感じます。 ・きちんと掃除されており、子どもが活動しやすい空間だと思います。 ・過ごしやすい空間だと思います。	・今後も継続して取り組んでいく。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	98%	2%	0%	0%	・子どもの課題・ニーズも聞き取って把握し、計画を立てていただいていると思います。 ・しっかり分析したうえで作られています。 ・保護者の思いを言語化して、計画を立ててくださっている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	6%	0%	2%	・発達段階やこれからの課題や具体例がわかるので、とても分かりやすく支援内容を記載されていると思います。 ・子どもの課題等をしっかりとらえて適切に必要な項目を選択した内容で設定されていると思います。 ・必要な支援の計画を作ってくれています。 ・子どもに必要な支援を長期的・短期的に設定していただいている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	・計画通りで支援を行っていただいていると思います。 ・その子の苦手なところを克服できるように支援をお行ってくれています。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	91%	6%	0%	4%	・月や週ごとに違い、季節行事を取り入れていただいていると思います。 ・活動がプログラムが多岐にわたっており、固定されていないと思います。 ・毎月の活動内容は楽しく学べる内容で満足しています。 ・毎日違う活動の中で、ルールやコミュニケーションなどの経験が出来、楽しく参加している。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	65%	13%	7%	15%	・定型発達の子に対して、発達障害児のことをどう知り、理解を深める機会があればよいと思う。 ・利用日によって制限されているので参加させたいけど出来ないのが残念です。 ・併行通園の為、そういった思いを感じたことはありません。	・地域の認定こども園や保育所等と連携を図り、検討をしていく。
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	2%	2%	0%	・きちんと丁寧に説明していただきました。 ・入所前に説明がありました。	・しっかりと説明をしていく
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	96%	4%	0%	0%	・書面でいただき、説明していただきました。 ・丁寧な説明がありました。 ・必要な支援について説明していただいています。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	91%	4%	4%	2%	・ペアトレは非常に参考になりました。保護者同士で話すよい機会にもなったと思います。 ・親子活動の場でも学ばせていただいていると思います。 ・個別や親子活動で支援をしてもらっています。	・今後も継続して取り組んでいく。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	2%	2%	0%	・その日あったことや出来るようになったことを教えて頂き、どんなふうにご覧いただき見られるのがうれしいです。 ・連絡帳等で丁寧に日々の子どもの様子を伝えていき、共通理解はできていると思います。 ・気になることがあれば電話したり連絡帳に書いています。 ・担任だけでなく、関わってくださっている先生方が理解して下さっているのが伝わります。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%	2%	2%	0%	・困ったときは相談させていただき、いつもよいアドバイスをもらえてうれしいです。 ・個別検査等で定期的に助言をいただいています。 ・親がすごく助けられています。 ・最初は「また！」という思うほどでしたが、その分先生方がしている支援がわかり、家でも出来る支援を工夫して言って頂いたり、声をかけていただき子育ての自己肯定感が上がります。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	46%	22%	7%	24%	・親子活動の場で他の保護者の方と交流が出来るようになっていきます。 ・良く知らないです。 ・親子活動が保護者同志の交流の場になるのでもう少し話す機会があると嬉しいです。 ・あるのかどうかよくわからない。 ・併行先や居住地が違うことが多いため、自分の子や自分に必死で中々他の保護者と関わらないです。 ・父母会はやったことがないので理解できません。	・保護会は設立していない。 ・親子活動の機会を利用し、保護者同士が話す機会が増えるように取り組んでいく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	91%	6%	2%	2%	・悩みに対して丁寧に返事をして頂き、ありがとうございます。 ・相談等には適切に対応や説明をしてくださっている。 ・とても良いと思います	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96%	2%	2%	0%	・連絡帳やお便りで情報の伝達は十分にされている。 ・連絡帳がありがたいです ・バス利用の為、何かを伝えようとするのはためらいもありましたが、どの先生に伝えてもきちんと答えていただいているのを感じます。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	87%	4%	2%	7%	・お便り等で行事の様子や概要を知ることが出来る。 ・お便りなどで確認しています。	・今後も継続して取り組んでいく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	91%	4%	2%	4%	・注意して個人情報を取り扱っていただいていると感じます。 ・されていると思います。 ・特に不安を感じたことはありません。	・今後も継続して取り組んでいく。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	80%	9%	4%	7%	・マニュアルについて、自分自身が十分に把握していない。	・保護者への情報提供をし、周知していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	89%	6%	0%	6%	・定期的に行われていると思います。 ・子どもが「災害バック」と言っているの、行われていると感じています。 ・震災で保護者が迎えに行くのが難しいことを想定して避難訓練を行ってほしい。	・園便り・クラス便り等を活用し、周知していく
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	72%	24%	2%	2%	・苦手給食はありますが、楽しみに通っています。 ・楽しみにしていて、成長する姿が見れてうれしい。 ・バスに乗るまでは「いや」というが「楽しかった」と言って帰ってくる。 ・嫌がったりはしないです。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%	・あづみに行けて本当に良かったです。 ・良い先生たちに恵まれ何より本人が楽しく療育を受けられていると思ひ満足しています。 ・いつも丁寧に配慮して下さり、子どもも意欲的になってきており、大変満足しています。 ・とても満足しています。 ・子どもから感じる成長がすべてかなと思っています。	・今後も継続して取り組んでいく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。